

第15回 酪農諮問委員会 実施概要

1. 開催日時：2017年10月5日（木）14：00～17：30
2. 開 場：雪印メグミルク(株)本社会議室
3. 出席者

諮問委員：小泉 恒男（元標茶町農業協同組合 組合長）
黒沢 寛寿（元全国酪農青年女性会議 委員長）
松尾 要治（元全国農業協同組合連合会酪農部長）
鈴木 宣弘（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）
小林 信一（日本大学生物資源科学部教授）
矢坂 雅充（東京大学大学院経済学研究科准教授）

当 社：西尾社長、難波副社長、石田副社長、小板橋常務、池浦常務
（事務局 酪農総合研究所）

4. 開催内容

今年度の諮問テーマは【酪農乳業の競争力強化に向けた改革への課題と対応】とし、今回は「制度改革の具体化に対する課題と対応」について、ご意見を伺いました。

今年度も局地的な豪雨や猛暑日の連続といった異常気象によって、各地で大きな被害をもたらし、高温による乳牛へのダメージで生乳生産の減少がいつそう深刻化しました。また、6月に農業改革に向けた関連8法案が多くが付帯決議を伴って全て可決され、さらに7月に隔たりが大きいとされていた日EU・EPA交渉が急展開して大枠合意されるなど、現在、生産基盤の回復・強化に取り組んでいる酪農生産現場においては、将来への不安が増幅する情勢となっております。

来年度4月に施行される改正畜安法の目的達成のために制度運用への政省令等で生産現場の声が反映されるのか、そしてソフト系チーズでTPPよりも一歩踏み込んだEPAやTPP11対策として既存事業の強化や予算措置が生産現場に安心感を与えるものになるのか、これらの行方が現況で最大の関心事となっております。

これらの情勢を踏まえ、生産現場の現状と基盤強化への取組や「農業競争力強化プログラム」に関する議論の動向について、各委員からそれぞれのご見識に基づく率直なご意見をいただき、乳業の対応についてもご助言をいただきました。

以 上



今回のテーマに対する課題認識を述べる西尾社長



酪農諮問委員会の様子